



和東



第3回定例会

決算認定 27年度決算認定の概要 >>> P.2

主な質疑等

決まったこと 28年度補正予算・条例改正他 >>> P.5

一般質問 4人が町政を問う >>> P.7

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 地域おこし協力隊 >>> P.14

元気いっぱい
和東保育園運動会

になお大きな課題 は貴重な成果



**9月定例
議会では**
(9月13日開会
27日閉会)

町長提出の平成27年度決算認定、平成28年度補正予算、3本の条例改正、工事請負契約の締結、「過疎自立促進計画」の変更、議員発議の4本の意見書等を審議しました。

決算認定は、15、16日に開催した、全議員で構成する決算特別委員会で審議。平成27年度に取組まれた事業の成果や課題、予算の使い方等について質疑を行い、討論、採決の結果、一般会計及び特別会計の決算認定を原案通り可決、認定しました。

「地方創生」―いち早い取組みの一方、住民協働で注文も

平成27年度は「地方創生」初年度として、町は「地方版総合戦略」「人口ビジョン」を早期策定し、「上乗せ」予算を獲得。一方で、「総合戦略」等の策定への住民参画が不十分だったとの指摘も。また「第4次総合計画」の見直し年度でもあり、各地域での住民懇談会を開くべきだったとの意見があり、町は検討課題としました。

2千人となりました。地方創生交付金を活用した「縁側カフェ」や体験事業、原山・天満宮へのトイレ新設等が実施されると共に、老朽化した「山の家」の大規模改修、湯船のMTTB（マウンテンバイク）

コースの認定コース化等、さらなる交流人口増への環境整備が行われました。質疑では、観光客増加をバス利用につなげる取組みや、援農支援事業の改善について要望が出されました。



リニューアルオープンした「京都和東荘」

「子育て」で改善も、出生数が過去最少に

平成27年度は、保育園での完全給食の実施、第3子以降の保育料無償化、保育時間の延長等の充実・改善が行われました。

その一方で平成27年度の出生数は過去最少の13人に止まり、人口も123人

減少する厳しい結果でした。質疑や討論では、保育園の延長保育や児童クラブの充実、教育費無償化等の負担軽減を求める意見がありました。町は

は言及しません。また若者の定住を促進するためにも住宅の整備・確保が急がれるとの指摘もあり、空き家の活用も含めた対策強化が望まれます。

交流人口増へ、山の家改修、MTTBコース整備、トイレ設置など

平成27年度の観光等による交流人口は前年比8.2%増の8万

現行の子育て支援を継続する方向は示す一方、新たな充実策

策強化が望まれます。

策強化が望まれます。



温かいごはんの給食に！

少子化、人口減少・定住対策

平成27年度 決算

交流人口の増加

暮らし、生活環境での成果と課題は

プレミアム商品券
で買い物支援の一
方で、汲取り手数
料値上げを実施

住民生活への支援
としてプレミアム商
品券（還元率20%）
や子育て商品券が発
行され地元商店での
消費に一定つながり
ました。一方、広域
事務組合での決定を
うけ汲取り手数料の
10ℓ当り16円の値上
げが実施されました。
橋梁、生活道路の
整備、町営住宅の
建替えを実施

生活環境の関連で
は、門前橋架け替え
など橋梁の長寿命化
対策、町道山口線の
拡幅工事、町営住宅
（第3・第5中西）
の建替え工事が実施
されました。

町税や公共料金の
未収金対策・
税機構まかせに
なっていないか
厳しい経済や生活

平成27年度特別会計決算

	歳入決算額	歳出決算額	差引額
湯船財産区	722万円	622万円	100万円
国保(事業)	8億8,089万円	8億3,851万円	4,238万円
国保(直診)	9,517万円	8,922万円	595万円
簡易水道事業	2億6,030万円	2億5,546万円	484万円
下水道事業	2億2,286万円	2億1,967万円	319万円
介護保険(事業)	5億6,768万円	5億5,317万円	1,451万円
介護保険(サービス)	486万円	442万円	44万円
後期高齢者医療	5,797万円	5,752万円	45万円
合計	20億9,695万円	20億2,419万円	7,276万円

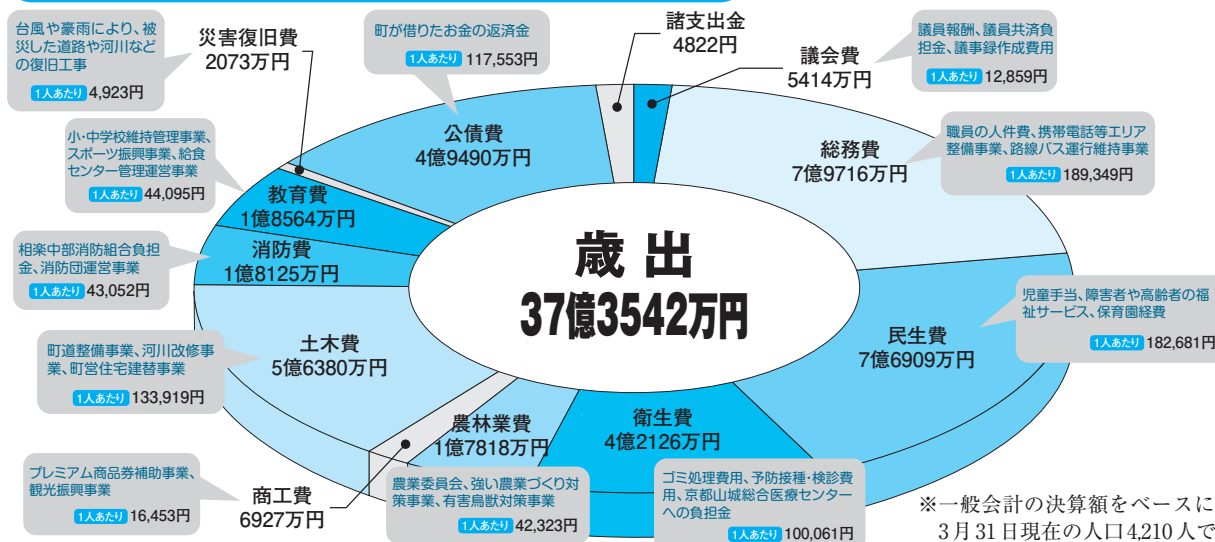
状況を反映し、平成27年度は町税や国保税、住宅家賃や水道料金等で約2千万円の未収金が発生しました。特に税の未収金は税機構に移管されるため町の関わりが弱くなっています。質疑では「町職員が訪問するべき」「納税者の実態把握が出来ていないのでは」等の指摘がありました。生活実態を踏まえた丁寧な対応が求められます。



※万円未満切り捨てのため、差引額、合計額に誤差の生じる場合があります。

平成27年度一般会計決算・歳出の内訳

一般会計決算の歳出のみ円グラフ



※一般会計の決算額をベースにして平成28年3月31日現在の人口4,210人で算出しました。

主な質疑

決算特別委員会



問 出生数が過去最低となり、人口も約120人減少。この結果をどう評価するか。

答 全国的な人口減少や地理的な条件等も影響しているのでは。

問 住民懇談会を開催していない理由は。今後は開催すべきではないか。

答 区の役員に負担ではないかとの思いもあった。今後は検討したい。

問 中学校の避難所指定が現場に伝わらなかったのは。

答 思い込みで意思の疎

通が取れていなかった。
問 体験交流センター施設使用負担金198万円の中身は。

答 保護者からも好評で良かったと感じている。
問 奈良交通バスの運行状況は。

答 八子予防防護服を購入したとあるが。
答 2着購入した。
問 27年度の下水道の接続状況、接続率は。

答 22件の接続で、接続率は71%。
問 光ボックスの27年度の普及数は。

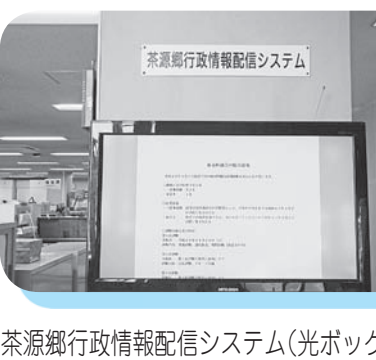
答 援農事業が実施された際の水光熱費が高額となり、支援事業者、広域連合、町で負担した。
問 災害時の食料等の調達の業者との協定は

答 年々利用者が減少し、町負担が増え、27年度は2600万円を補助した。
問 今後、観光客も含め利用が増える見込みは。

答 33台の普及があった。
問 もう一歩踏み込んだ支援が必要ではないか

答 当面は現状で進め、一定時期が来れば検討したい。

答 コカ・コーラとコメリと協定を結んでいる。
問 B&Gプール上屋の破損原因と対応策は



答 サルの被害も含め破損が拡大した。恒久対策を検討中。
問 診療所会計へ一般会計から2170万円繰入れているが

答 人件費、医薬品等に必要な予算がある中で設定した額。
問 し尿汲み取り料の値上げ分は十分補填できたのではないか。

答 簡易水道の定義から外れるので困難。
問 カーブミラーの設置箇所は。

答 数軒している。未収金の解消へ努力したい。

問 将来、浄水場から森林公園に水道管を引く考えは。

答 納付も含め対応している。
問 水道の給水停止はしているのか。

平成27年度決算

一般会計決算に対する討論(要旨)を紹介します。

討論

賛成 井上武津男 議員

「地方創生」の交付金を活用し、特に観光等の交流人口拡大に取組み、前年度比8.2%増加した。暮らしの安全安心を目指し、門前橋整備、町道山口線改良、町営住宅建替え等を実施。

少子化対策では第3子以降の保育料減免、生活支援ではプレミアム商品券発行を行った。自主財源が乏しい中、各種補助金等を駆使し、第4次総合計画前期計画の最終年度にふさわしい積極的なまちづくりを進めた点を評価し賛成する。

反対 岡本 正意 議員

①汲取り手数料や介護保険料値上げ等、住民生活を守る姿勢が弱い②子育て支援、定住対策で一層の努力を③高齢者福祉・医療で町独自の支援が弱い④現場との連携不足、原発事故対応の先送り等、防災対策で改善が必要⑤相楽東部広域連合での教育委員会の運営は不適切⑥同和行政は終結を⑦住民主体、生活重視の地方創生事業になっていない等、7つの点を指摘し反対する。

平成28年度 補正予算 森林公園整備事業(MTB)と 有害鳥獣侵入防止柵設置事業に意欲

平成28年度補正予算で決まったこと

一般会計

▽予算現額に5600万円を追加しました。主な事業は次のとおりです。

- ▽和東山の家ゴミステーション設置等に1213万円
- ▽人権ふれあいセンター改修工事に1450万円
- ▽MTBレンタルバイク収納庫設置事業に400万円
- ▽有害鳥獣侵入防止柵(電柵)に1021万円
- ▽道路維持測量設計委託に450万円
- ▽町道維持修繕工事業に650万円
- ▽消防ポンプ車庫整備事業に250万円
- ▽災害対策費として発電機、備品等購入に1694万円

国民健康保険特別会計

▽直診診療施設予算現額に、前年度繰越額として75万円を追加しました。

簡易水道事業特別会計

▽予算現額に前年度繰越額260万円を追加しました。

下水道事業特別会計

▽下水道分担金・繰越額として130万円を追加しました。

介護保険特別会計

▽居宅介護サービス給付費は1240万円を減額し、地域密着型介護サービス給付費を840万円、介護予防サービス給付費を400万円、介護予防サービス計画給付費を70万円それぞれ追加しました。

条例制定・改正

▽和東町税条例の一部を改正する条例
▽和東町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
▽特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

▽湯船財産区特別職等役員の報酬及び費用弁償の減額。

計画や規則の変更

▽和東町過疎地域自立促進市町村計画の変更
▽人権ふれあいセンター施設の耐震・改修事業。

同意案件

▽監査委員の選任
任期満了に伴い
藤木 貞嗣氏を再任した。



湯船分団消防車庫予定地 旧湯船小学校跡地

第2回臨時会

8月29日に平成28年度第2回臨時会が開かれ町長提案は可決しました。

○議案

和東町庁舎耐震補強及び改修工事請負契約の締結

平成28年8月19日一般競争入札に付した。

落札率は98.5%でした。
契約金額

約2億5000万円
契約の相手方 藤原・山口特定建設工事共同企業体

契約期間 平成28年8月30日から平成29年3月30日

主な工事内訳の金額
耐震補強 約7500万円

トイレ改修 約3000万円

2階・3階空調工事 約3800万円

LED照明 約2100万円

エレベータ設置工事 約4200万円

意見書

第3回定例会（9月）に次のとおり意見書が提出され、①・④の意見書は所管大臣に送付しました。

①北陸新幹線京都府南部ルートに関する意見書

提出者 岡田泰正 議員

可決

賛成者 8人
反対者 1人

②安全保障法制の発動に反対する意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 1人
反対者 8人

③年金積立金の株式運用の中止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 3人
反対者 6人

④次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

提出者 井上武津男 議員

可決

賛成者 8人
反対者 1人

自治功労者表彰

次の方の表彰に同意しました。

松谷 正樹氏

各議員の賛否

平成28年第3回定例会(9月)に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名										
			竹内きみ代	藤井清隆	村山一彦	吉田哲也	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	小西啓	岡田勇	畑武志	
認定	委	平成27年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	平成27年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	平成27年度和東町下水道事業別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	平成27年度和東町介護保険別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
認定	委	平成27年度和東町後期高齢者医療別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
可決	本	平成28年度和東町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	×	×	○	×	○	×	-	-

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。

畑武志議長は本議会の採決に、竹内きみ代決算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。

町政を問う！提案する！ 一般質問

9月13日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。質問順に、各議員の質問項目を紹介します。

●村山一彦議員

1. 茶品評会への行政の取組みは
2. 捨て猫、捨て犬を防ぐ手立てを

●岡田泰正議員

1. 鳥獣対策と観光とまちづくりの相互の関係は

●岡本正意議員

1. 「一元化」で国民健康保険はどうなるほか
2. 学童保育の充実を
3. 公共交通の充実を

●岡田 勇議員

1. 堀町政16年間の総括を問う

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。

問

各種茶品評会の
結果について

答

町として積極的に
応援して行く

問

今年度の普通煎茶の府品評会、関西茶品評会において、上位はいずれも南山城村に独占されました。市場においては和東茶は高評価をいただいているが、品評会においては近年結果が伴わない。行政サイドとして、どう考えるのか。

答 堀町長

色々要因があると思いますが、次の三点ではないかと考えます。①和東町は機械刈りが主流であり、審査は手摘み上位の傾向がある。②出品茶製造時期と本町茶葉が活気づく時期がかなり、出品茶よりも出荷するお茶の製造が忙しく、手摘みではなく機械刈りで出

品という構図になっ

てい。③南山城村は、和東町に追いつき追い越せとの精神、南山城村茶の名声を高めるため、村一丸となって出品茶に取り組んでいる。

答 農村振興課長

関西茶品評会の第一位は平成13年、京都府茶品評会は平成12年、以来受賞されていらない農家が上位入賞できる出品茶に取り組んでいたべくよう応援して行きます。

問

今年度の出品者は16名。煎茶の茶葉を標榜している和東町としてはいささか寂しい数字と思う。もっとPRする必要があ



村山 一彦 議員

るのでは。

答 農村振興課長

今後も和東町出品茶推進委員会を中心に関係団体と協力しながら、上位入賞に向けた取組みをして行きます。

問

PRチラシの文章が多過ぎると感じる。もっと見やすいチラシにすべきでは。

答 農村振興課長

現状としてはチラシ一枚では、何が載っているも出品に結びつける事は難しい。町としては、出品推進委員会の方を中心に、鋭意、農家の方にご協力を募って行きたい。



出品茶手摘み

問

今、空前のペットブームです。しかしながら、捨て猫、捨て犬も多いのが実態です。そこで、避妊、去勢手術費用の助成金を出していただければと考えるが。

答 農村振興課長

京都では京都市、八幡市のみで、奈良市は最近やめたと聞いている。和東町では、そういった問い合わせは現在聞いておりませんが、必要性はないと考えます。

問

役場に持ち込まれた子犬、子猫について住民に

飼ってもらえるよう、和東町のホームページに掲載し、防災無線で流してはどうか。

答 農村振興課長

役場に運び込まれた捨て犬、捨て猫を保護した場合は、山城南保健所に搬送し、収容日からその翌日まで町役場の提示板に公示する事になっている。また、公示期間満了日の翌日まで引き取り手がない場合は、京都府動物愛護センターに運ばれることになっている。



保護された迷い犬

問

野生鳥獣対策
「何とかしてくれの声」

答

大型檻を設置

効果がでない
どうしようもない

野生鳥獣対策

問

野生鳥獣特別処置法が施行されて8年が経過したにも関わらず、食害の被害減少に繋がる対策がない。鳥獣害対策抜きに町づくりは出来ない。

答 農村振興課長

猿出没の通報があれば追いついて払いに出動している。休日もある限りの対応をしている。絶対的な対策の妙案は今のところない。

問

個体数を減らす取り組みを早急に確立するには。

答 町長

今年1月から個体数を減らす専門業者に委託して野猿の固定数調整をしたが、失敗した。捕獲檻の設置を引き続き実施していきたい。

答 農村振興課長

野猿個体数調整事業を実施し5メートル四方の檻での捕獲事業を実施している。今後各区で檻の設置協力もお願いしたい。

問

防護柵補助金不足金に
単費で満額補助回答

防護柵の申請額が国の補助金では大きく財源不足だ。単費でもって町民の要望に応えるべきだ。

答 町長

国からの補助金を大きく超える申請があり不足分については町の単費で応える事とし補正予算に計上した。

答 農村振興課長

有害鳥獣対策協議会が要求した金額に対し内示額が185万2千円だった。町民からは1172万7千円の申請があり不足額を単費で補い全員に対応することが出来る。

問

有害鳥獣侵入柵設置事業

が始まったところは電気柵(メートル当たり650円)が主流で、現在は複合柵(メートル当たり2213



岡田 泰正 議員

円)が主流となつて町民からの申請額が大きくなり、国からの補助金との乖離が予想されるなか、今後も単費補助は約束できるのか。

答 町長

町では大変な問題だ。単費補助については機械的に、形式的な対応はできない。

問

電気柵を複合柵に切り替えたが再度補助申請は出来るのか。

答 農村振興課長

国、府に確認したところ「乗換対策も大丈夫だ」との回答であり、被害を何とか少なくする為に前向きに考えている。

問

地区が隣接した所が3軒以上なければ補助対象でなかった電柵事業制度が、緩和されたと聞くと、どのような内容か。

答 農村振興課長

集落内に於いて3軒以上の要件を満たせば、圃場が隣接していなくても補助対

象となるよう緩和された。

問

町民や観光客に対して鳥獣害が起こる前に行政が取るべきリスク管理に如何に取り組むべきか。

答 地域力推進課長

注意喚起の看板設置、広報誌、チラシ等による啓発。そして啓発、告知については先進地の状況も含め、今後研究していく必要があると考えている。猿害等についても発生リスク懸念が高まっていると認識している。

問

住む人等しく農に親しみ獣害を受けない安心安全でストレスの受けない町を目指して行かねばならない。

答 町長

農家の方々の生産意欲の減退だけでなく、集落の維持にも深刻な影響がある。農作物の収穫の喜びを感じて生活できる安心安全な町づくりには有害鳥獣対策を進めていきたい。

問
府への一元化で国保の運営は良くなるのか

答
不安定要素を心配せずに運営できるのでは



岡本 正意 議員

りて運営している。延長する場合は延長料金の検討が必要。

問
実際に支障が出ている。保育園は6時半なのに、学童保育は何故6時なのか。最低限、保育園並みに延長を。

答
福祉課長
必要であれば考えたい。

開催、関係機関の意見交換を経て、12月に計画素案をまとめ、来年3月に決定の予定。

問
高校生通学補助制度の拡充を。

答
町長
現行のバス定期代の半額補助を継続する。

問
通学圏の拡大で通学費が重くなっている。どの高校に行っても安心して通学できるよう、もう一步踏込んだ補助を。

答
町長
もう少し検証したい。



学童保育は子どもたちの生活の場

問
平成30年度から国保運営を府に移管する予定だが準備状況は。

答
税住民課長
来年3月をめどに運営方針の素案を決める見通し。

問
健診等の事業実施について町の主体性の維持は。

答
税住民課長
財源を税や国、府の補助金で賄う事は変わらない。

問
移管後の国保税額は。

答
税住民課長
府が医療費や所得水準を考慮して示す標準保険料率を参考にして定める。

問
財政問題などを根本的に解決できるのか。

答
町長
府が主体となるので不安定要素を心配せず運営ができると考える。

問
値上げにならないのか。

答
税住民課長
急激に上がる事はないと思うが、あった場合は激変緩和も検討されている。

問
国保税の引き下げを

答
町長
医療費が下がり続けなければ可能だが現在は考えていない。

問
学童保育の充実を。

答
町長
保育料の引下げを。財政的にも十分可能。引下げを拒む理由はないのでは。

問
保育時間の改善を。夕方は6時半まで、朝は7時半からに。

答
町長
努力が多ければ当然対処が必要。

問
公共交通の充実を

答
町長
コミュニティバス運行の検討状況は。

問
住民参加による新たな交通システムの構築へ検討を進めている。

答
総務課長
10月に住民アンケートを実施し、ワークショップの

問

堀町政の16年の歩み

答

住民との強調と交流が大事



岡田 勇 議員

問

和東町の町づくりの主役は茶であります。年々生産量は煎茶は減少し、逆にてん茶は倍ほど増加しております。一体町長は、どちらを重きに置いておられるのか。

答 町長

宇治茶の主産地である和東町は、やはりそれを活かしたまちづくりが、最も重要であり、生産においては二八年度は農協の扱いは、てん茶が75パーセントになっており、てん茶の時代であります。しかし、生産ブランドにおいては煎茶であり、茶の原点に帰り、煎茶を守っていかなくてはならないと思っています。そ

れが和東町の特色であります。

問

町づくりの原点は人づくりと考えておりますが、和東町は少子化が最も進み、若者もそれに伴い、流出が多く和東を守ろうとする人すら少ない状況であります。どのようにして、歯止めをしようと考えられているのか。

答 町長

なかなか、難しい問題でありますが、私の持論を言いますと、世の中は便利な方に流れ、いわゆる楽な方に流れる。損得では得の方に流れる。このような打算的、合理的な考えで動く流

れの方に、偏っています。もう少し自然の中に生かされていくという意識を持たないと。

和東町は自然と環境が恵まれている地域です。この自然の恵まれた中で、人づくりということの施策を執っていくべきだと思います。

問

住民との協調。

まちづくりに重要な事は住民の声を謙虚に聞くことでありそれを実行されてきたのか。

答 町長

当初から、住民との協働、協調を謳っています。地域住民との交流を尊重

し、町外と住民の声を聞きながらやっていくのが今の時代に必要な事だと思います。協調と交流が大事だと思います。

問

どんな小さな住民の声も素直に聞き、また期待に応えて、事を実行するべき町長の姿ではないでしょうか。次の人こそそういう住民本位の人なのではないでしょうか。

答 町長

地域懇談会は何度か開いています。平成25年頃から「茶源郷出前サロン」を持たせて頂き、もし、区長さんが希望されているならば、いつでも出向いていきます。

問

災害に強いまちづくりとは。

答 町長

災害に強いまちづくりは2つあり、1つは治山治水工事であり、京都府にお世話になっております。もう1つは砂防堰堤であり、見直す箇所は沢山あり、対策を講じなければならぬ時期を迎えています。これも京都府にお願いをしていきます。

問

ごみの施設の見直しについて、非常に危険な状態がありますが、早く修繕してほしいが。

答 町長

この問題については20年という住民との協定があり、真摯に受け止めて進め

ていかなければなりません。あと、3年ありますので対策を講じつつ、お願いするべき事はお願いをし、住民との信頼の中で進めていきます。

総務厚生常任委員会

補助金から
交付金行政へ

委員長 井上武津男

本委員会は8月31日に、平成28年度の事業進捗状況や、平成27年度の決算概要について事務調査を行った。

町長から、補助金から交付金行政に変わり、財政確保が厳しい状態であるが、地方創生により、地方の施策を進め、共同したまちづくり、広域連携したまちづくりに取り組みたいとの報告があった。

平成28年度の進捗状況の説明があり、一般会計の執行状況は歳入14億9092万円の調定に対し、12億5954万円の収入で収納率が約84%、歳出累計は8億5873万円で予算現額に対し約24%の執行となった。また、繰越事業では、歳出累計が2億888万円で約66%の執行であった。

主な課別の事業進捗状況

は、総務課では、府道宇治木屋線トンネル化による、経済効果の調査業務を委託され、現在策定に向けて審議中である。

地域力推進課では、地域おこし協力隊3名を新しい雇用やサービスを創出、地域活性化を図る目的で受け入れた。

和東町観光案内所設置は8月25日入札が実施された。おもてなし観光整備では、駐車場の整備を石寺区と調整中である。

福祉課からは、低所得者世帯への負担軽減として「臨時福祉給付金給付事業」(支給額3000円)が実施され、9月1日から申請受け付けが開始される。

「高齢者年金生活等支援臨時福祉給付金」は6月から受け付け、8月22日現在573名の申請があり、6月より給付している。

各委員からは、総務関係では、海洋センタープール上屋テントの修繕工事、プールの一般開放の時間延長等の質問があった。地域力推進課関係では、おもてなしトイレ等々の質問があり、住民課関係では、国保会計が黒字となっている原因、その他数多くの意見や質問が出された。

次いで、平成27年度決算概要について説明を受け、一般会計歳入38億5952万円、歳出37億3542万円、実質収支は7275万円の黒字決算であった。

なお平成27年度の事業については、決算特別委員会審議する事とした。

その他として、庁舎耐震補強及び改修工事の概要について工程表により説明を受け、事務調査を終えた。



傷んだBGプール上屋テント

一部事務組合・広域連合議会報告

京都府後期高齢者医療広域連合議会

「保険料減免特例」期間延長

8月26日、28年度2回定例会がc o c o n 烏丸^まで開催された。平成28年度特別会計補正予算では、9億4896万が補正され、総額3229億6830万9000円となった。

歳入は前年度繰越金の増であり、歳出は平成27年度支払基金交付金等の返還金との説明があり、全員賛成で可決された。高額療養費の予算額に不足が生じ専決処分を行った事によるもので全員賛成で承認した。平成27年度一般会計決算、平成27年度特別会計決算についての歳入・歳出の差額を、28年度に繰越す事を認定した。

議案13号は東日本大震災に被災した被保険者に対する保険料減免に関し、平成28年度分においても国の財政措置が講じられ、保険料減免の特別期間延長されるもので全員が賛成した。



産業常任委員会

社会資本整備総合交付金

要望に対し30%にとどまる

委員長 **吉田哲也**

9月1日に開催した委員会では、平成28年度の事業の進捗状況や平成27年度の決算の概要などについて事務調査を行った。

奥田副町長から8月26日現在での一般会計全体の進捗状況は、町税や地方交付税を含む歳入での収納率が84.6%。総務課・民生費等を含む歳出の収納率は25.4%。繰越事業では主に過疎化交付金等6251万円の歳入。土木費・災害復旧費で62.7%の執行率で2644万円の支出との説明があった。

治茶生産景観継承支援事業では、新たに整備する被覆柵45アールを受益戸数3戸で進めている。茶源郷和東スポーツ聖地化づくり事業ではマウンテンバイク20台程度と湯船森林公園水利確保用品(給水車)を購入。和東茶を生かした新産業創出事業の執行率は33%。農業体験事業の執行率は38%であり、活性化センターに業務委託をしているとの説明を受けた。

建設事業課では、橋梁長寿命化修繕事業について、39橋の橋梁点検と現時点では執行されていない砂子橋修繕工事の発注予定の説明があった。舗装維持管理事業、門前橋架け替え事業、町道山口線拡幅改良事業については、要望額に対し30

%の内示額で金額に見合う施工箇所の調整中であり、11月末までには発注を行う。

各委員からの意見質問に対し、特に野生鳥獣被害総合対策での鳥獣個体調整について、現在サルの檻を石寺区にも設置し、今後、他の地区にも設置を検討したいとの回答があった。

午後からは町営第3・5中西団地建て替え工事の現地調査を行い、進捗状況の説明を受けた。

その後、平成27年度決算概要の報告を受け、この日の事務調査を終えた。



鳥獣個体調整設置檻

一部事務組合・広域連合議会報告

京都府地方税機構広域連合議会

8月6日、定例会がホテルルビノ京都堀川で開催された。はじめに、山崎連合長の就任挨拶があり、その後、27年度の取り組み実績について報告を受けた。本格的な徴収業務開始から6年、未納額が大幅に減少し、最高の収納率が達成出来た、24年度から実施の法人関係税務の共同化、申告書受付の一括化、また、申告内容の審査・調査を機構で一元化した事で納税者の利便性向上と法人関係税務の効率化を図る事が出来た、との説明でした。

27年度一般会計歳入歳出決算認定は賛成者多数で承認されました。その他、4議員から一般質問があった。

相楽東部広域連合議会

7月7日、第2回定例会が和東町議会議場で開催され、3人の議員が一般質問を行いました。平成27年度一般会計補正予算(専決)、特別職の職員(非常勤)の報酬及び費用弁償の条例の一部改正を全員賛成で可決。テールアルメ裁判提出資料作成委託料が主な内容の平成28年度一般会計補正予算も全員賛成で可決しました。また監査委員に南山城村の廣尾正男議員を選出しました。

『地域おこし協力隊』インタビュー

まちの
“元気”を
訪ねて

今回、9月から和東町に移住され、活動を開始された地域おこし協力隊（茶産業振興・大芝真理さん、観光振興・増田耀平さん、湯船地域振興・武田 崇さん）の皆さんにお話をお伺いしました。

Q 和東町の「地域おこし協力隊」に応募されたきっかけは

A（大芝） 援農プロジェクトに参加して町の人の温かさに触れ、これまでに培ってきた栄養士や調理の経験を生かして地域に貢献したいと応募しました。

（増田） 援農プロジェクトの参加がきっかけで、地域に貢献したいと思いと起業という夢を実現したく応募しました。

（武田） 以前からこの制度に興味があり、調理師の資格を生かせるジビエの活動に興味があり、湯船地区の未来づくりに貢献したいと思に応募しました。

Q 和東町で活動を開始されてから一ヶ月経ちましたがどうですか

A（大芝） 茶農家さんで秋番茶刈りなど茶や農業について教えてもらいう日々の中、お茶のことをより深く学ぶため「日本茶インストラクター」を目指して勉強もはじめました。

（増田） 和東茶カフェや商工会などで日々研修をさせてもらっており、一日も早く観光案内や商品PRができるようになりたいと頑張っています。

（武田） マウンテンバイクの活動にも関わらない

から地域等の勉強をしています。便利とは言えない地域に暮らしてみても「便利＝豊かさ」でないと実感しています。

Q 今後どのように活動していきたいと考え

ておられますか

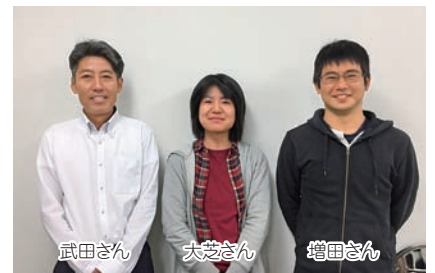
A（大芝） 地域の皆さんから教えてもらったことやこれまでの経験を生かして、特産品づくりや6次産業化に力を入れ、和東茶をしっかりと発信していきたいです。

（増田） 観光案内所のオープンに向けて、民泊や体験プログラムなど観光で来られる方に楽しんでもらえるまちづくりとPRを頑張りたいです。

（武田） マウンテンバイクコースをはじめとする湯船森林公園もですが、森林整備や獣害対策など地域の活性化にうまくつなげて活動していきたいです。

Q 町内の皆さんにお知らせしたいことはありますか

A 「地域おこし協力隊」の活動を知ってもらおうよう、フェイスブックページを立ち上げ、毎月「地域おこし協力隊通信」も発行している。いろいろな情報をお知らせし、和東町が元気なまちになるよう一緒に取り組んでいきますのでよろしくお願います。



武田さん 大芝さん 増田さん

編集後記

11月に入り、時候の挨拶も晩秋へと移り変わりました。

夏のリオオリンピックが終わり、メディアでは豊洲問題やアメリカ大統領選挙等の話題で秋はバタバタと過ぎゆき、その間9月定例会では、平成27年度決算を含む重要審議を無事終えることができました。

和東町も東京都や京都府と同じように首長と議員が共に住民に選ばれ、共に「民意」を代表する、いわゆる「2元代表制」です。

今回の議会だよりは、当初予算と共に最も重要な審議のひとつである決算審議を中心としています。果たしてどれだけ「民意」が反映されているのか。皆さんの目で確認していただければ幸いです。

（畑 武志）

広報編集委員会

委員長	岡本 正意
副委員長	井上 武津男
委員	吉田 哲也
委員	畑 武志
委員	岡田 泰正

第4回定例会は、12月14日開催予定。傍聴にお越しく下さい。